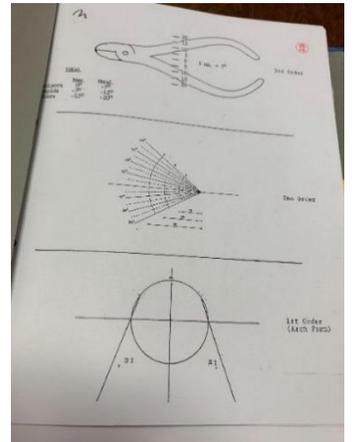
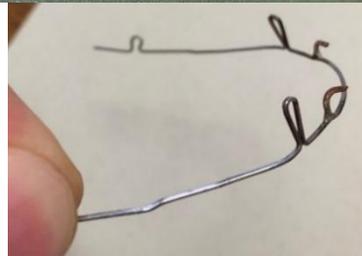
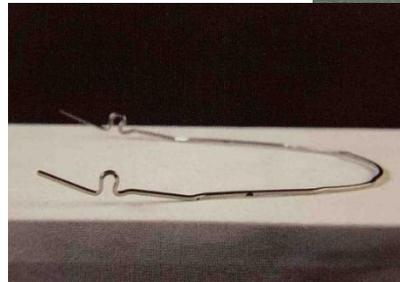
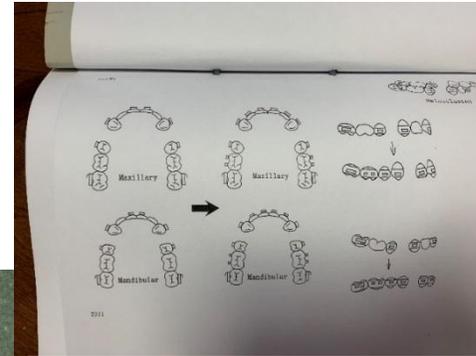
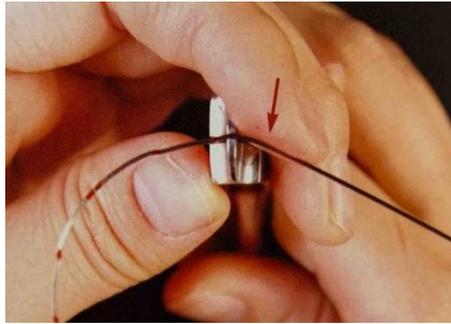




プレツーンコースの紹介

プレツーンコースは、矯正治療の理論と技術を学ぶ講習会です。当講習会は、アメリカ・アリゾナ州ツーンで開催されているTweed study courseの受講準備の目的もありますが、スタンダードエッジワイズのメカニクスをもう一度基礎から学びたい方にも適しています。もやもやしていた今までのエッジワイズ治療が一皮むけ、晴れ晴れすると思います。



●レクチャーとワイヤーベンディング

- プレツソンコースでは、1グループ4名～6名で構成され、参加人数にもよりますが、毎年5～6グループ編成で行われます。
1グループ2名～4名のインストラクターがサポートします。



- 参加者は3日間、同じ机で実習を行いますが、インストラクターは毎日変更となります。
- 講習会の内容は、レクチャーとワイヤーベンディングに大別されます。



- レクチャーではツイードフィロソフィーの基本的な内容がスライドを用いて説明されます。(※詳細な内容はアメリカの本コースの中で説明が行われます)

- ツweedフィロソフィーにおける治療の目標(ゴール)
- 顔貌のバランス評価となる Z- angle
- ツweed分析法(ツイード三角など)、診断法
- ツweedフィロソフィーに基づいたフォースメカニクス
- Vertical control の重要性 など

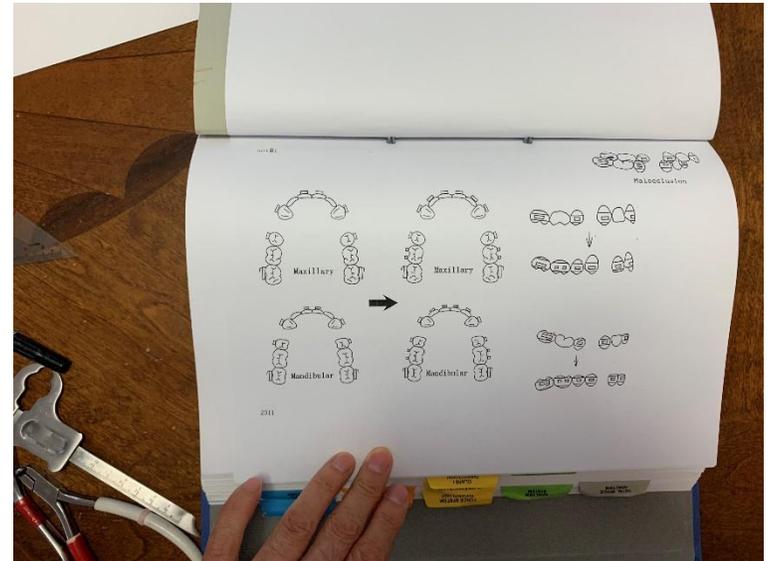
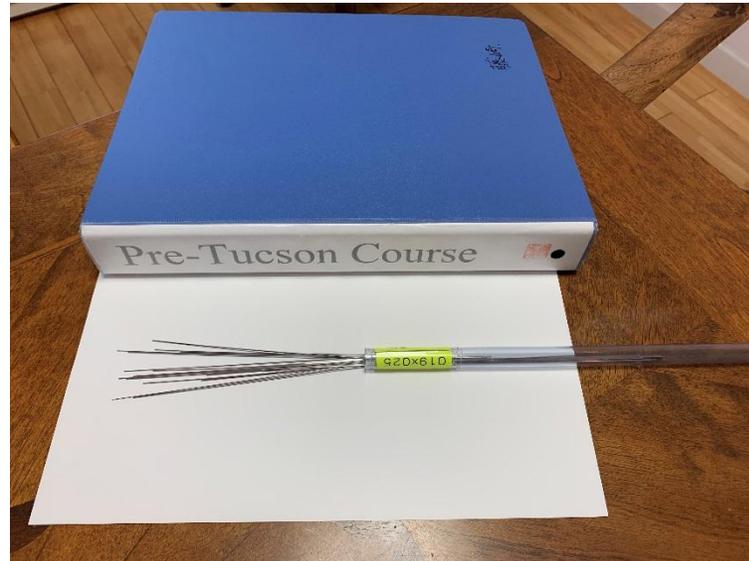


- その他、ツイードフィロソフィーに基づいた治療例などが説明されます。
- また実際に行われるワイヤーベンディングの説明もスライドで行う場合もあります。
- 時間的な配分としては、ワイヤーベンディングが圧倒的に多くなっています。実習の合間合間にレクチャーが行われます。

ここからはワイヤーベンディングに関して説明します。

準備して頂くもの

- 受講生の先生方には、プライヤーとターレット、マーカー、ノギスなどを準備していただきます。(こちらでは、シラバス(手順書)と各サイズのワイヤー、歯列が記入された厚紙などを用意します。)



クロンツ先生が、まずお手本をインストラクターにデモして説明します。

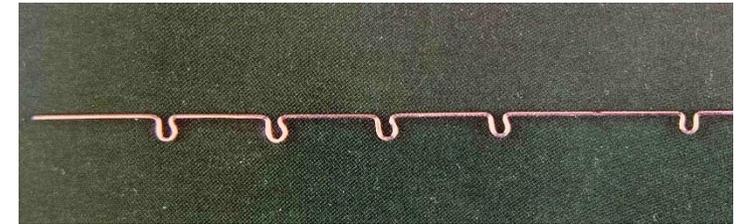
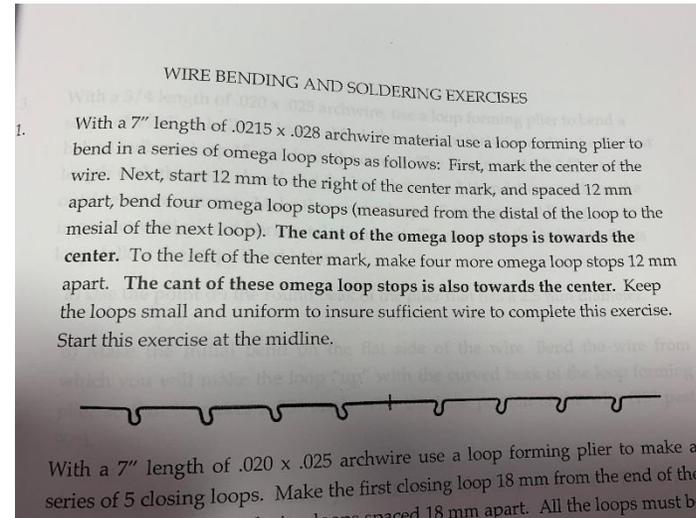
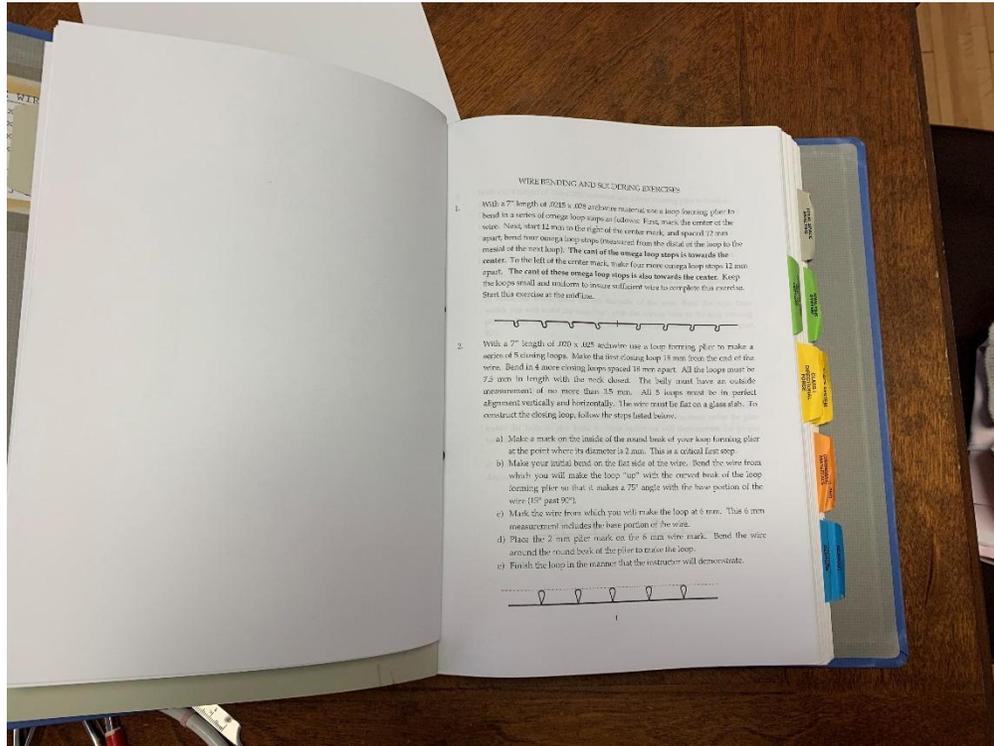


※ 残念ながら2023年にクロンツ先生がご逝去されました。現在は日本人インストラクターが運営しております。

その後インストラクターが各テーブルに戻って、これから曲げるワイヤーのデモを行います。

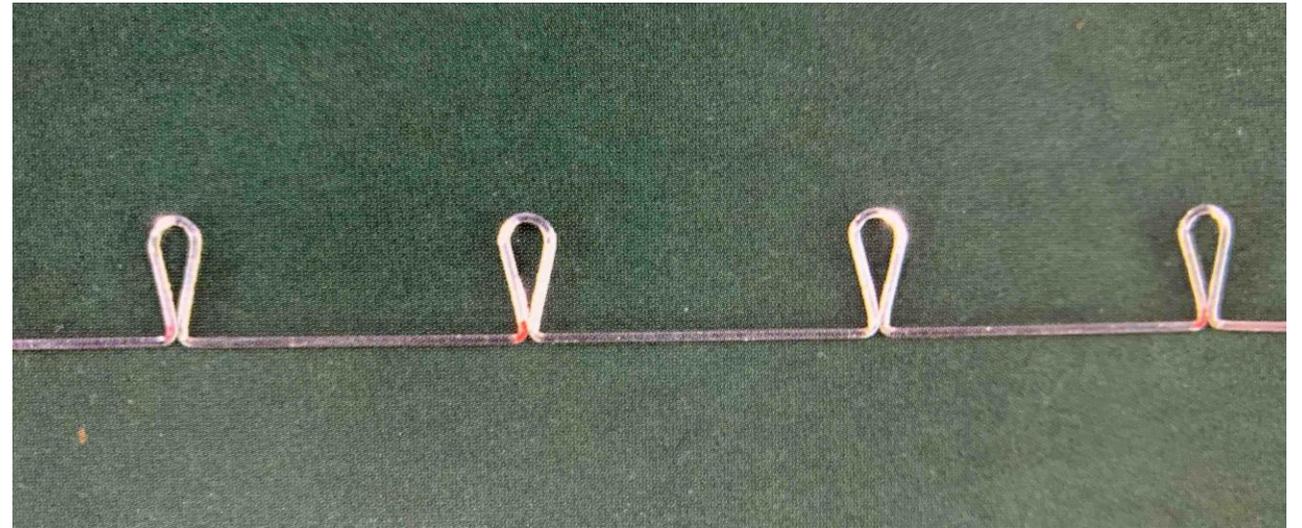
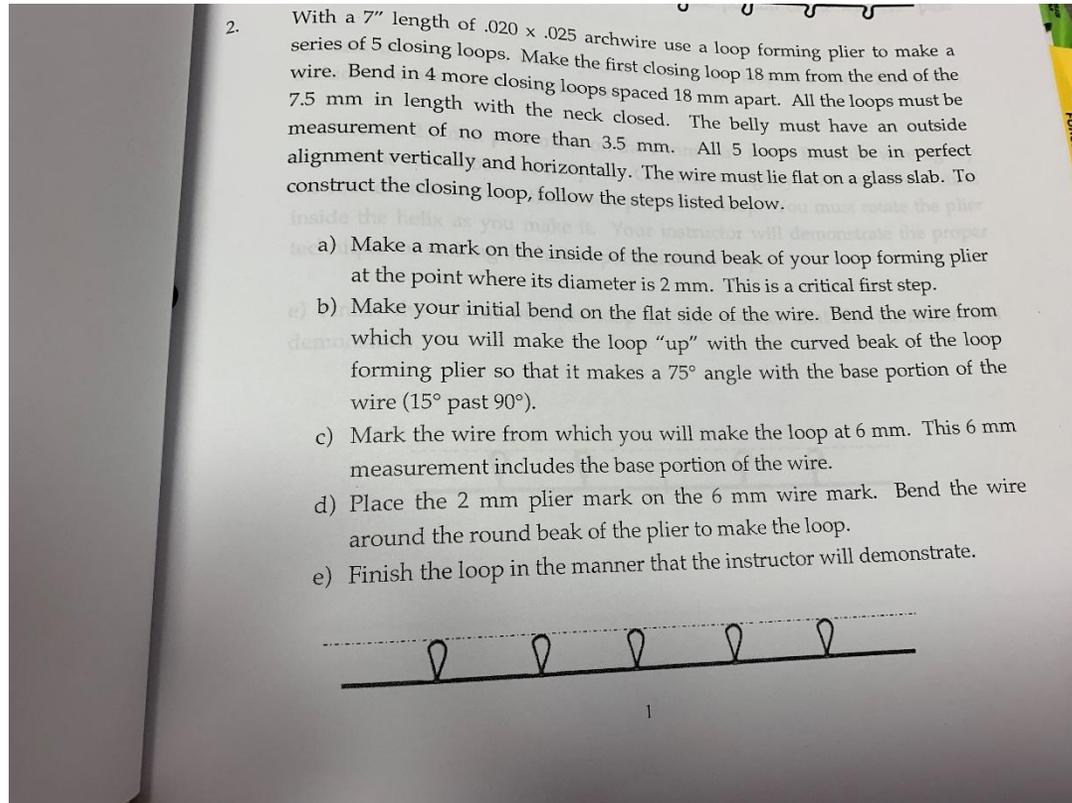


それから受講生の先生方が曲げ始めていきます。 最初に曲げるのが、ストップループです。



シラバスに英語で指示が詳しく書かれています。0.0215" × 0.028"フルサイズのステンレスワイヤーを使用します。実習ではインストラクターが口頭でプライヤーやワイヤーの把持方法、指や爪のあて方、押し方などを詳細に解説し、同じサイズの同じ形のストップループが曲げられるように指導します。受講生の先生方はこのワイヤーから曲げ始めます。曲げては図と比べて、大きさや位置などが正確に曲げられているかをチェックします。

次はクロージングループを曲げます。



指示書には、ワイヤーのマークの位置や、ループの高さや、ラウンド部分の外径の長さなどが指定されています。それに合うようにベンディングを行います。ループ同志の3次元的な捻りやベースラインの一致などに気をつけながらの練習です。こちらは.020" × .025"のステンレスワイヤーを使用します。

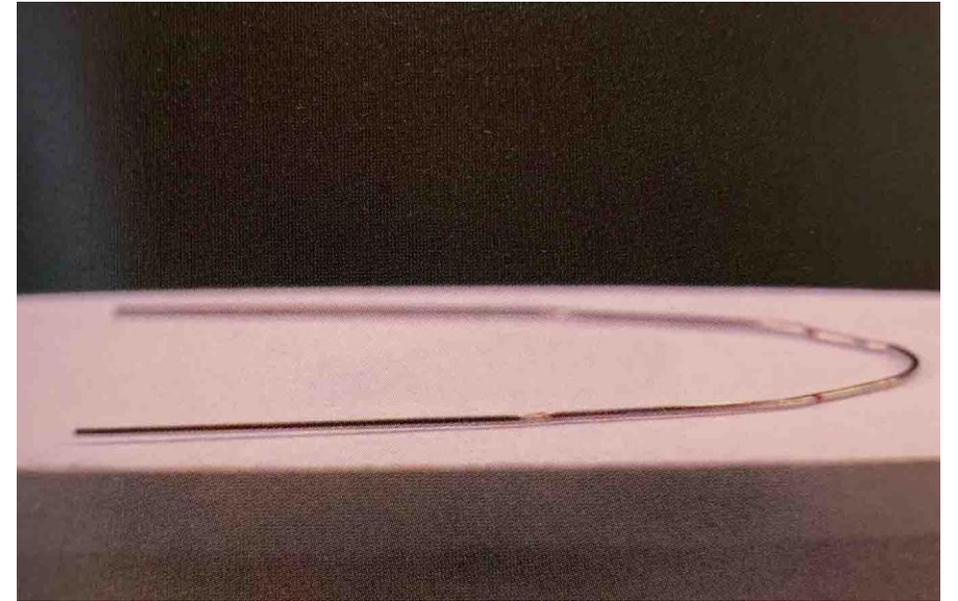
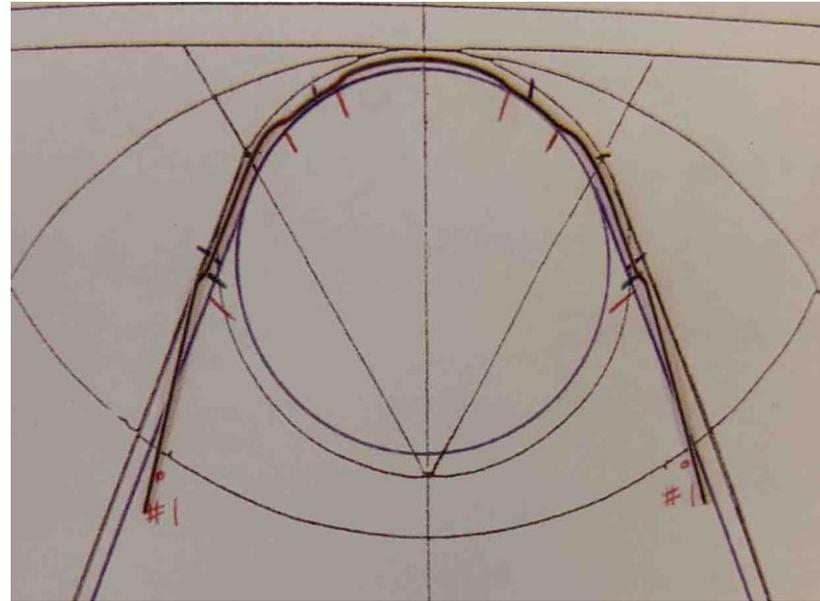
次はアーチブランクを作成して、1stオーダーベンドの実習となります。



Fig. 4. 2. 4]

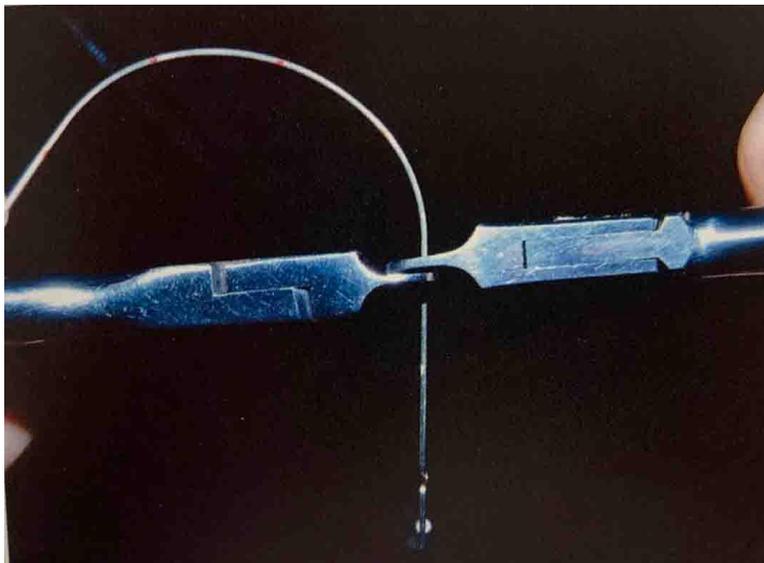
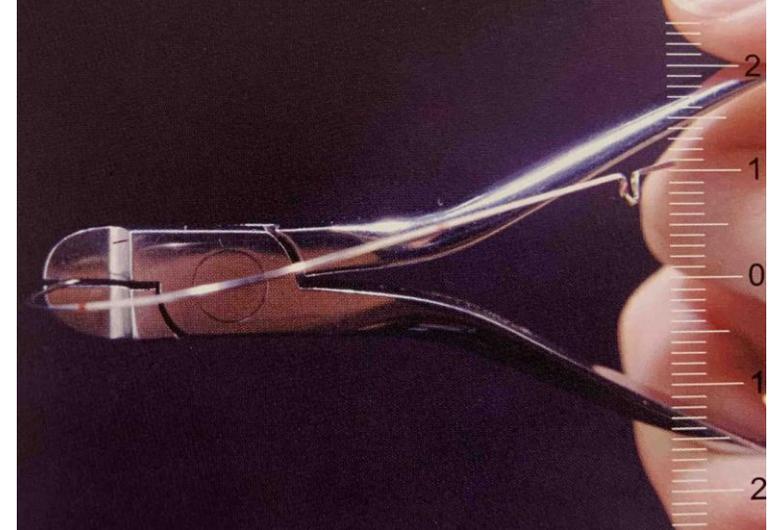
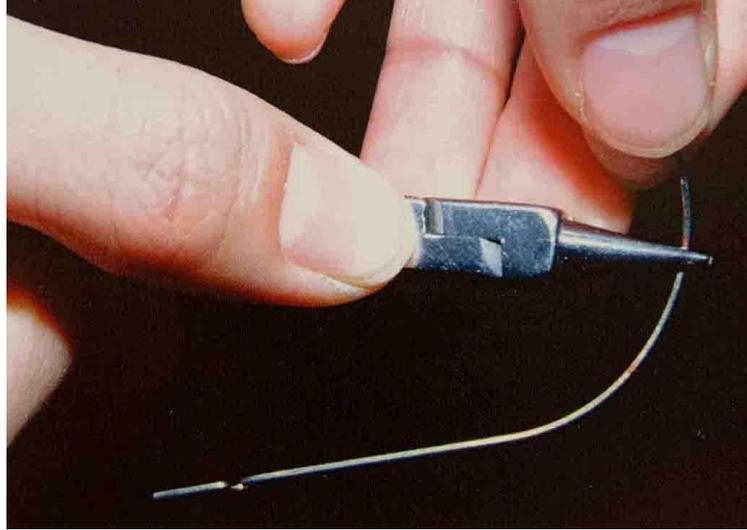
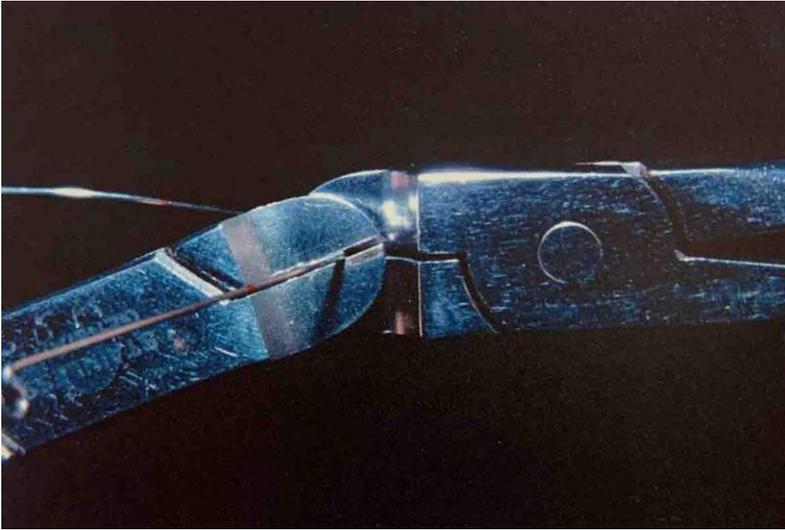


Fig. 4. 2. 5]



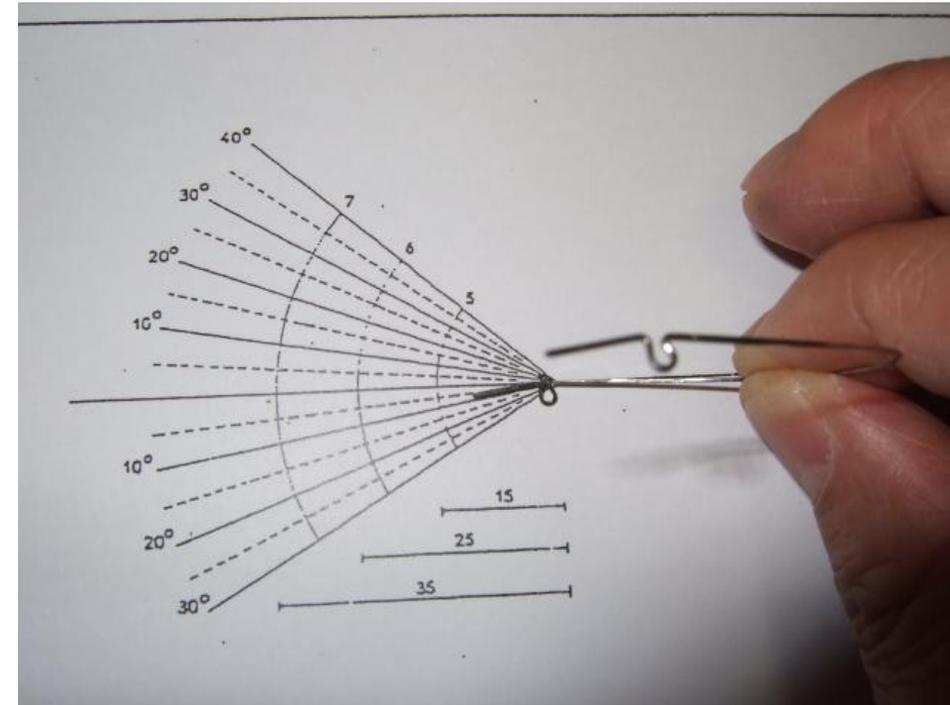
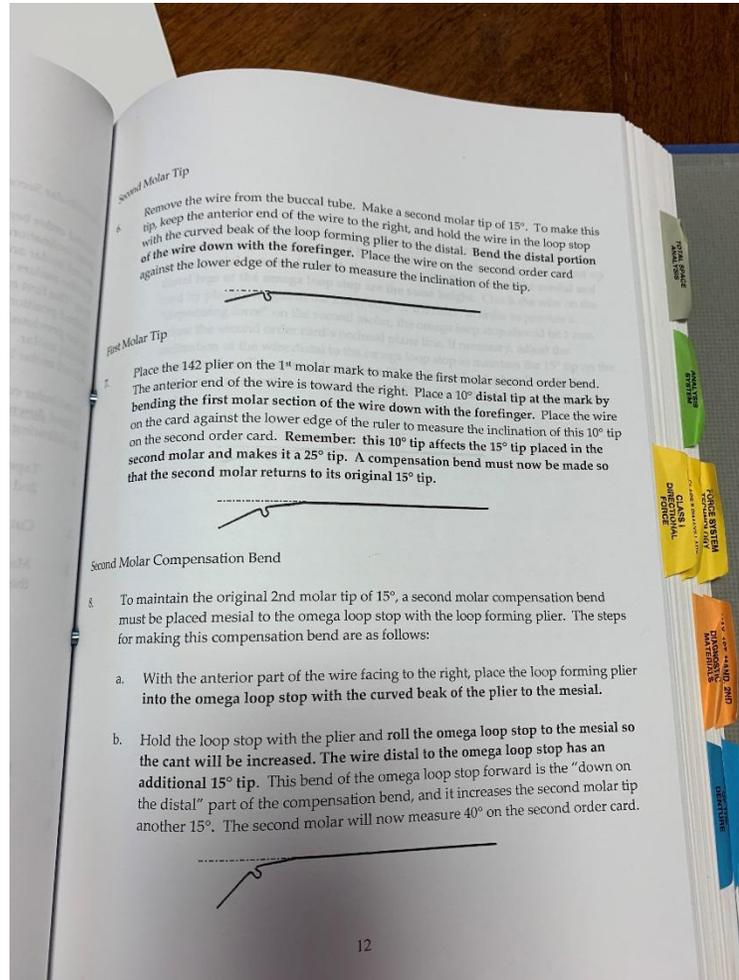
ターレットを用いてストレートのステンレスワイヤーをアーチカードに沿うようにカーブを付与します。ターレットが初めての方にも指導いたします。オフセット、インセットの位置や、ワイヤーをアーチカードのライン上またはラインの1ミリ内側を通るように、などの細かな指示に沿って曲げていきます。

次は3rdオーダーベンドの実習となります。



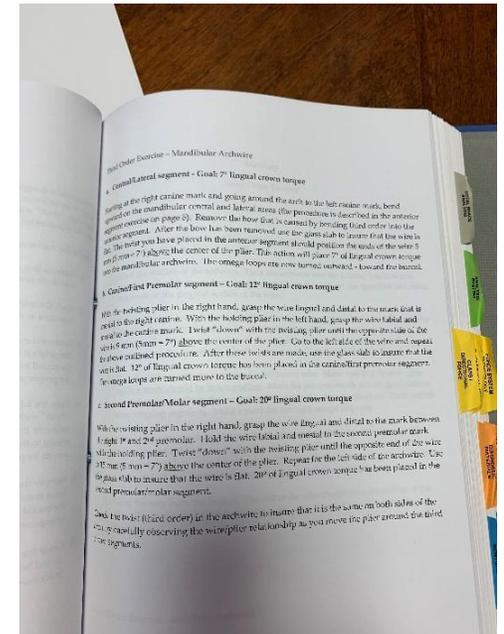
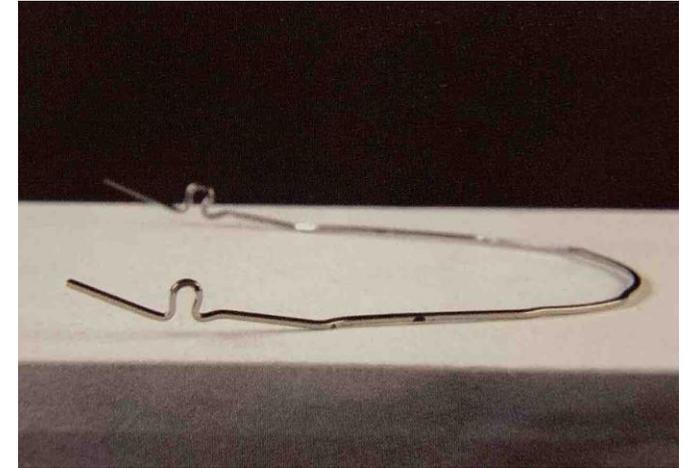
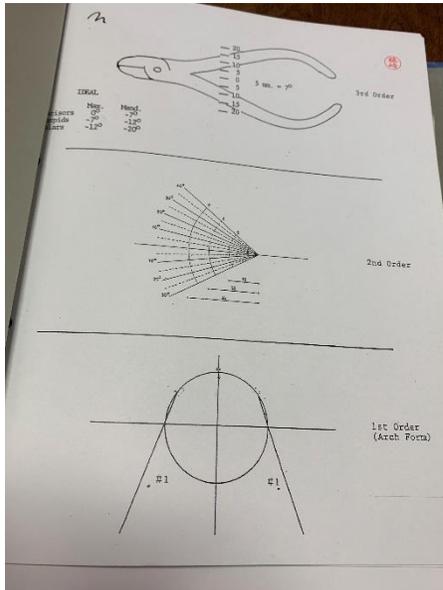
エッジワイズブラケットの本領を発揮するトルクをコントロールする3rdオーダーの実習を行います。
前歯部に付与する方法や、犬歯以降の小臼歯や大臼歯への付与についても実習していきます。
何度のトルクが入っているのかや、トルクの増減の仕方学びます。

次は2ndオーダーバンドの実習です。



指示された角度になるように、ワイヤーの角度を測りながら、ティップバックバンドを付与します。またⅡ級ゴム使用時の下顎大臼歯の挺出を防ぐためのアンカレッジプレパレーションの付与の方法も解説します。

次はアイデアルアーチのベンディングの実習です。

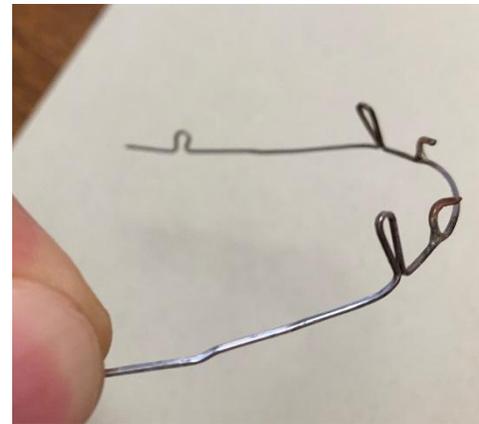
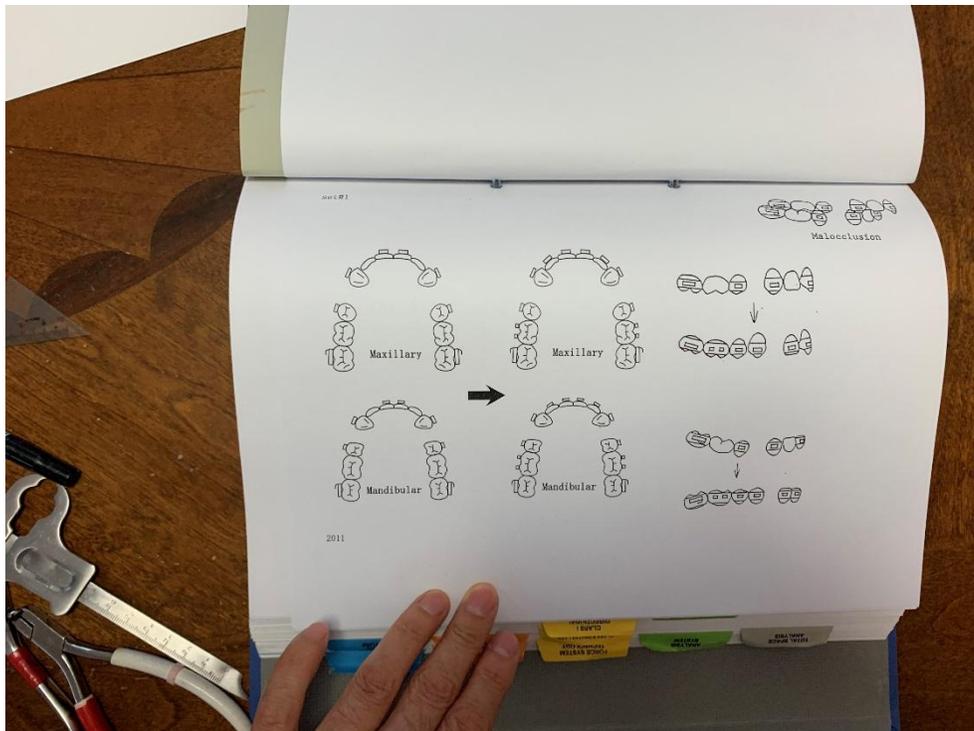


.0215" × .028"の最も太いワイヤーを用いて、ターレットでアーチブランクをアーチカードを基に作成し、ストップループを所定の位置に曲げ込み、1st、3rd、2ndオーダーを指示書の通りに曲げて行きます。今までの実習の全てを1本のワイヤーへデザインしていく練習です。

いよいよペーパータイポドントの開始です。

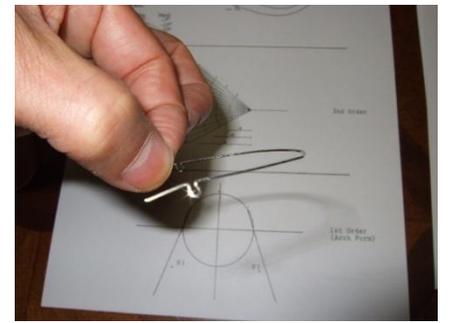
- ここからは実際に治療に使用するワイヤーのベンディング練習となります。
 - 想定はアンクル I 級上下左右第一小臼歯抜歯ケースです。
 - これを治療ステップに沿ってワイヤーをベンディングしていきます。

(本コースでは、II 級1類の上顎4下顎4抜歯や上顎4下顎5抜歯や非抜歯ケースなどがあります。)



紙に描かれた歯列がタイポドント代わりになります。これに合うようにアーチの幅径やストップループの位置、犬歯や大臼歯のオフセットなどを指示書にしたがってベンディングして行く練習です。

- Set1ワイヤー 上顎 .017" × .022" ステンレスワイヤー
下顎 .018" × .025" ステンレスワイヤー
レベリングしながら犬歯の後方移動をJフックヘッドギアーで行います。



- Set2ワイヤー 上顎 .020" × .025" ステンレスワイヤー
下顎 .019" × .025" ステンレスワイヤー
犬歯の遠心移動が終了してスペースクローズのワイヤーをセットします。



- Set3ワイヤー 上顎 .0215" × .028" ステンレスワイヤー
下顎 .0215" × .028" ステンレスワイヤー
アイデアルアーチとしてのワイヤーをセットします。



上記のワイヤーを上下顎、それぞれ曲げていくこととなります。その度ごとに説明やデモンストレーションがあり、受講生の先生は常にライターのチェックを受けて進めていきます。運がよければ、クロンツ先生直々にワイヤーチェックしてもらえます。

懇親会とサーティフィケートの授与

- 2日目の実習終了後に懇親会が開かれます。そこで受講生の皆様へのサーティフィケート(受講証明書)が手渡されます。



プレッソンコースで伝えたい事

プレッソンコースは、1941年からツイード先生がアメリカ(アリゾナ州)で始めて以来80年に渡って継続しているツイードコース(11日間コース)を、日本の先生方にも受講してもらうための準備コースとして、1997年から日本で開催されている3日間コースです。

ツイードフィロソフィーに関する講義とワイヤーベンディングの実習を行います。なかなか3日間でフィロソフィーの習得は難しいですが、ワイヤーベンディングには自信がつきます。

現在、矯正歯科治療装置は様々なものがあります。簡単な症例には簡単な装置で対応が可能ですが、難症例を治療するとなると、どうしてもワイヤー装置による治療が必要となります。しかも、3次元的に正確に歯をコントロールするためには、角ワイヤーが必要となり、個々人により違う様々な歯牙の形態に合わせて咬合を付与するためには、どうしても細かなベンディングのテクニックが必要となるのです。

矯正歯科治療を一生の仕事にしたいと志している先生は、ベンディングのスキルを身につける事は避けては通れないのです。是非、このコースを経験して、次にツイード本コースを受講され、さらに実践にも取り入れて、少しずつでもスキルを磨き、どんな症例にも対応できる社会から必要とされる矯正歯科医になって頂きたいと思えます。それが、先生自身の成功、幸せに繋がってゆき、ひいては治療を受けた患者さんも、健康な生活が出来、幸せになることができるのだと思えます。

エッジワイズ(角)ワイヤーのベンディングテクニックが習得でき、スタンダードエッジワイズの真髄に触れることができるコースは、日本でこのコースが唯一だと思われます。質の高い治療を行う事ができる矯正歯科医が、より多く育っていくことを願いながら、私達はこのコースを開催しております。